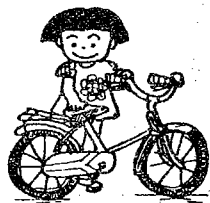


教育現場で思うこと(五)

成末肇士



これまで述べたきた事は、近代になり、功利主義が世の中を支配し、併せて、科学技術万能主義と結びつき、物や金を中心になり、いつの間にか「心」が無視され、忘れられたところに現代の色々な悲劇や災が生じている、という事です。そこで感性が最も重要になるのだ、と主張しました。

「感性」とは何でしょう。定義がありません。感性が良いとか、感性が悪いとか、よく言いますが、どうやって測るのでしょうか。測定するのは困難です。従って、功利主義や科学万能主義からは無視されてきました。しかし、最近では「感性教育」とか「心の教育」の必要性が教育界、マスコミ等で叫ばれています。論者によって、その感性や心の定義はまちまちです。

次のような話が実際に日本の国会でありました。ある国会議員が総理大臣に質問しました。「総理、雪が溶けたら何になると思いますか」。総理大臣は何にも答えませんでした。「ある小学校の試験問題です。雪が溶けたら、水になるの答えは○で、雪が溶けたら、春になるの答えは×なんです。一本当にどちらの答えが×で、どちらの答えが○なのか疑問だと思

二十四節氣のひとつ、大寒に近い一月十七日、天気予報は晴れ後曇り。この一週間テレビで、新聞で気圧配置を何度確かめたことか。朝七時半、冷気の中で三つのかまどは燃えはじめた。火のまわりは、一いいとんど日和になりましたな」とと会話が始まる。

新春ふれあい広場

さあ、スタートの九時。リールのかげ声のもと、みんな心を一つにした「つた引き」。五本の太竹がやっと立ち上がる。ぼちを入れ、十一時には書き初めやミカンを飾る。子どもたち

ませんか。雪が溶けたら、待ちに待った春がやってくる。何とすばらしい感性の持ち主だと思いませんか。雪や氷が溶けたら水になり、百度を越すと蒸気になる。いわゆる水の三態です、実験によって確認することもできます。小学校の高学年になると学校で教えます。中学校になれば、その水は水素分子と酸素分子でできており水の分子は水素原子2個と酸素原子1個で出来ている事を教えます。水の電気分解の実験で確認します。高等学校に入ると、その水素原子や酸素原子は、陽子、中性子、電子で成立していることを教えます。大学に入り物理学を専門にすれば、原子核を詳しく勉強します。中性子と陽子の関係、湯川秀樹博士がノーベル賞受賞の対象となった「パイ中間子理論」アインシュタイン博士の「相対性理論」や物質は全てエネルギーになること、そして核分裂、製造方法へと進みます。これ等学校で教えることは全て知識です。教えられ、覚えればよいことです。そしてよく覚

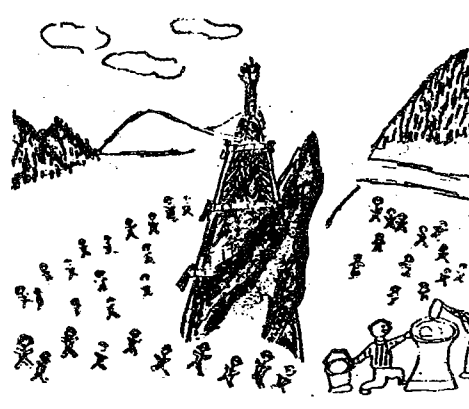
える人はIQ(知能指数)が高いと言われ、優秀な頭脳の持ち主として世間からも認められます。しかし、雪が溶ければ春になることを連想する感覚は、学校ではなかなか教える難しいことです。雪国では、冬には雪が降って雪が積もる事。雪は暖かくなれば溶けて水になる事。春には暖かくなる事。冬の次には春が来る事。これ等は知識ですから学校でも教えます。しかし、雪が溶ける事と、春が来る事との関連は知識ではありませんが、連想の問題です。いわば「感性」の問題です。この感性は一人一人それぞれで違っています。また、感性は学習によって作り、代えることもできます。感性と区別されるものに「氣質」があります。以下次号へ

春夏秋冬

いたずらに 姿をみせぬ 楯谷マサヨ
神秘的な姿 思い出となる 摩周湖も
降りそぐ 雨に打たれし 身に沁み
如来の心 我に伝われし
その時は 聞く耳持たぬと 思いしも
姑(ぼ)の年なり 言葉めざめる



- 二月町内各種団体行事予定
- 小学校(幼) 三日
- 誕生会 九・一〇日
- 冬期学園(五・六年) 一八日
- 一日入園(新入園児) 二〇日
- 参観日 二〇日
- 児童会役員選挙 二二日
- 新一年生入学説明会 二六日
- マラソン大会 二七日
- 女性会 日
- 親睦会 二二日・二六日・二二日



この絵は、新春ふれあい広場の様子を、深小学校五年生が共同製作したものです。

「新春ふれあい広場」の放映は二月五日(日)午前九時からテレビ新広島であります。

報道される政・官・財の不祥事を毎日のようにみせつけられると、この国の将来は大丈夫なのだろうか、とふと思う。政治に対する関心度は、選挙の投票率に最もよく現われると思うが、最近では身近かな選挙でも五〇%を割り三〇%台。三分の二は無関心派が占める。日本は政が駄目でも官が健在だから大丈夫、との神話も大きく揺らぐ昨今だ。財に至っては自分の保身と、属する企業・業界のエゴが優先する構造欠陥となつているとしか思えぬ。大卒のエリートと言われる人々が、「倫理規定」でしてよい事と、悪いことの区別をしてもらはねばならぬとは、小学生なみである。黒船来航で、開国を迫られた当時の日本の指導者。負ければ植民地。を念頭に日清・日露戦を指導した人々と、現代の指導者には相入れない大きなギャップがあると思う。これを別の面から眺めると、指導者としての「美学」にたどりつく。「自分を百万や一千万円で売って渡すことに何の抵抗も感じない現代の...」今は亡き小津安次郎は、「芸術は自分の思うとおりにする」と書き残した。

深町の歴史余話 (四)

人口推移について

高崎壽郎

江戸時代、深村の戸数人口はたいした増減はなく大体平均していた。即ち、戸数は一五〇戸前後、人口は六百人未満で一人の人数は以外と少なく四人強となる。

その時代、高率の年貢（深村はおよそ七公三民）を取めるために、労働力をいくらでも必要としたのになぜ一家族の人数が少なかったのだろうか。それは、子どもを産まなかつたのではなく、家族が増えなかつたのである。人々の間では、間引きが暗黙の了解で普通に行なわれていたと推測できる。

江戸時代約二百年七十年間は、人口にほとんど増減なく、全国平均三千万人が続いたようである。

深町(村)の人口推移

時代(年)	戸数世帯数	人口(人)		備考
		男	女	
宝永6(1709)	185	266	270	536 不始村差出し帖
文政2(1819)	129	—	—	585 国志附用下志ら書出帳
文政10(1827)	130	—	—	564
天保11(1840)	138	—	—	—
明治4(1871)	—	379	347	726 鹿番置泉
明治11(1878)	155	—	—	—
明治21(1888)	156	—	—	867 久山田村と合併前
大正11(1922)	268	—	—	1,460 深村(深・久山田)
昭和20(1945)	170	442	545	987 終戦の年
昭和25(1950)	195	504	562	1,066 三原市へ合併前
昭和35(1960)	193	457	500	957
昭和40(1965)	196	415	465	880 東京オリンピックの翌年
昭和45(1970)	198	387	411	798
昭和50(1975)	218	403	431	834 山陽新幹線開通
昭和55(1980)	234	419	454	873
昭和60(1985)	241	430	461	891
平成2(1990)	254	407	441	848
平成7(1995)	290	486	522	1,008 太谷谷バイパス開通
平成9(1997)	333	486	508	994 12月31日現在

※この調査には、豊重英人氏、小川トシコ氏の協力をいただきました。 [98-00010]

次は全国的に言えることだが、明治になって人口の増加が顕著になってくる。ご存じのようには、深村は明治二二年(一八八九年)一六二戸から昭和二六年(一九五一年)二六二戸の約六二年间は、現在の尾道市久山田町と同じ村だった。その間、戸数は平均深村は一五〇戸、久山田は一〇〇戸だったときいている。

注目は太平洋戦争の終わった昭和二〇年(一九四五)の人口である。

この前とんどで、おもちを焼きました。三つのうち一つはちゃんと焼きました。二つめを焼いていると、友だちがぜんざいを食べているところを見て、おもちを焼くのをやめて、焼くところのおもちを急いで食べてぜんざいを食べに行きました。こうしておいしい物が食べられたのも、地域の人や学校の人たちのおかげです。

女性が男性より約百名多い。これは、戦争で犠牲になられた方が多かったからと思うが、これも多分戦争の傷跡が大きかったことがわかる。

- ・おもちをべつたんするの、おもしろかったよ。
- ・おもちをまるめるとき、ぬくかったよ。
- ・とんどつくるのが、むずかしいとおもった。
- ・たいへんそうじやった。
- ・おおいくなつたら、つくってみたい。
- ・とんどがやけると、あかいひがすごかった。
- ・ボガンというの、おもしろかった。
- ・ぱんっておとがすごかった。
- ・あつつけえ、おもちひっぱたらたのしかった。
- ・ふたつたべたよ。

(幼稚園児のつぶやきより)

せんざいが、すごくおいしかったよ。もつと、たべたかったです。ありがとございました。うれしかったです。

(一年 たけうちつぐみ)

きょう、学校にテレビのハッピーキッズがしゅざいにきました。しゅざいにきて、とんどをもやして、パチパチ音がして、とんどつくる音がしました。すごい音でびびりました。自分もうたれた気がしました。竹がおちる時、だれかがひっぱってました。すごい高いとんどがひくくなつてました。竹はたおれてもまだパチパチいてました。さいごにテレビにうつっていたらいいなとおもいました。

(二年 小川 かつのり)

うれしかったとんど祭り 地域のみなさん ありがとう

三原市立深幼稚園・小学校

朝早くから地域の方々がたくさん集って、みんなのとんどをしようけん命たててくださいました。そのおかげで、すごく立派なとんどがたてられてとてもうれしかったです。私は、点火するのがもったいないなあと感じました。

もちつきでは、地域の方がおもちを丸めやすく切ってくださいって、形のいいおもちを作ることができうれしかったです。

地域の方々のおかげで楽しいとんど祭りができて、とてもよかったです。本当にありがとうございました。

(五年 河原 美穂)

(四年 長島 まるみ)

いよいよ竹馬きょうそうです。3年生の代表は勇真くんです。私たちは「勇真くん、がんばれえんじました。勇真くんががんばって。」といておうえんしました。勇真くんが一番になりました。テレビ局の人が、「はやかたねえ。」といたら、勇真くんはにげました。多来美ちゃんが、「そうじゃあねえ。はずかしんかね。」といてわらいました。さいごにテレビ局の人が、屋上に上ってみんなをうつしてくれました。うれしかったです。また、やりたいと思いました。

(三年 力武 美沙)

とんどの準備では、大きい竹や柿の木はたいへんでした。でも先生や友だちと一緒にけん命やったら、たくさんあったけど運べました。

組み立ての時は、地域の人々が手伝ってくれて大きいとんどができてよかったです。ハッピーキッズに来た解答者や司会者もびっくりしたと思います。

おじいさん、おばあさん方、そして消防団や町内のみなさん、そしておとうさん、おかあさんたちの力をかりて、こんなに楽しくでき、六年生最後のよい思い出になりました。

みなさん、ありがとうございました。

(六年 頼兼 稔和)

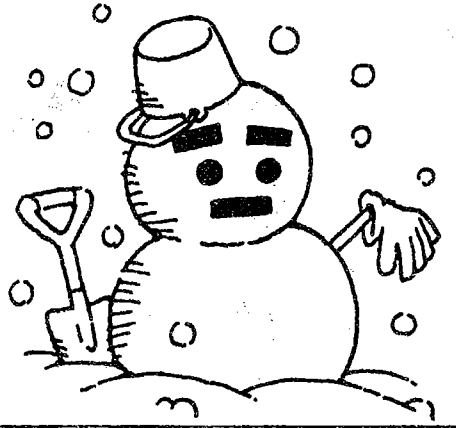


それ以来、発表される統計資料をみても、全国的にほとんどの所で女性が男性よりも多いのである。女性が男性に比べて長生きというところもあるが、表でもわかるように、昭和五〇年代からは、一世帯を四人が切ってしまった。これは核家族化が進行し、世帯数が増えた関係もあるが、子どもは二人までが普通になり、山産まなくなつたからと考えられる。

それから二〇年。今、我が国は少子化時代といわれ、出生率も一・四三人までさがつた。これは世界一低いということである。

長寿も世界一。現在女性八三才、男性七七才が平均的寿命である。これは大変嬉しいことであるが、我が国の少子化傾向を考える時、この様な人口のバランスでよいか気になるところである。

平成七年(一九九五年)太郎谷バイパスの開通は深の門戸を開いた。閑静で緑の多い深の自然環境を求めて新築の家が目立ち始め、平成九年(一九九七年)の現在、世帯数も人口も急増した。これからは複式を解消した。これからは深の人口が千名を下がることはもうないだろう。一方、一世帯の人数はついに三名を切つてしまった。



「ふかまのまど」を読んで
先日は「ふかまのまど」四号をお送り頂き有難うございました。

成末さんの「教育現場で思うこと」正に同感致しました。「シベリヤ抑留記」このような生の体験を記録しておくことは、とても大事なことだと思います。高齢になられて、逝去される人も多いことでしょうから急がれますね。

「深町の歴史」興味深く読みました。続きを楽しみにしています。

また、深町の自然、川でどんな魚がとれていたか、今はどうとかも記録しておいてほしいと思います。

(六〇代男性 大阪住)